

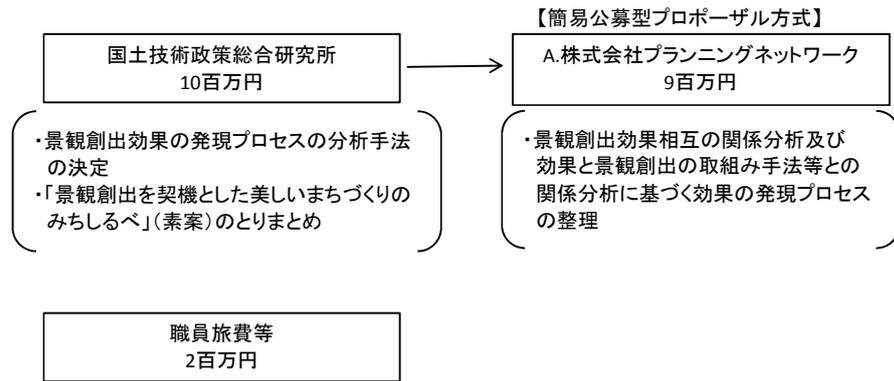
平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	美しいまちづくりに向けた公共事業の景観創出の効果分析に関する研究		<b>担当部局庁</b>	国土技術政策総合研究所		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H22/H24		<b>担当課室</b>	緑化生態研究室		室長 栗原 正夫		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	41 技術研究開発を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	景観法 観光立国推進基本法 歴史まちづくり法		<b>関係する計画、通知等</b>	美しい国づくり政策大綱(H15.7) 国土交通省所管公共事業における景観検討の基本方針(H19.4) 観光立国推進基本計画(H19.6閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	本研究は、先進的な景観創出事例の分析に基づき、これまで明らかにされてこなかった公共事業の景観創出が美しいまちづくりに及ぼす効果とその発現メカニズムを解明し、直轄等の公共事業における美しいまちづくりに向けた景観創出の取組みをより一層推進することを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	全国の先進的な景観創出事例について、ヒアリング調査や現地観測調査などの詳細な事例調査に基づき、景観創出が美しいまちづくりに及ぼす効果と、その発現に資する具体的な景観創出の取組み内容を把握・整理する。そのうえで、景観創出の取組みと効果との関係の分析により、美しいまちづくりに向けた景観創出効果の発現メカニズムを解明する。さらに、事例間の比較分析等を実施し、事業分野や事業特性等に配慮しつつ、発現メカニズムに応じた各段階における効果的な景観創出手法を研究する。こうした分析結果を踏まえ、美しいまちづくりの実現に資する効果を発現するために、直轄等の公共事業の各段階において、どのような景観創出の取組みを進めればよいか、効果的な景観創出の進め方等を「景観創出を契機とした美しいまちづくりのみちしるべ」として取りまとめる。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	12	11	10		
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計	-	12	11	10			
	執行額	-	11	11				
執行率(%)	-	94.7%	96.4%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	定量的な成果目標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施の成果が現れるのは、事業完了後となるため。			%				
	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
定量的な活動指標を示すことができない。 (理由)本事業では技術研究開発であり、箇所数、件数、人数等で事業の進捗を表すことができない。		( )					-	
単位当たりコスト		算出根拠		単位当たりコストを示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施中において定量的な成果実績や活動実績を示すことができないため。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1						
	試験研究費	9						
	計	10						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・外部有識者による評価委員会において「研究の背景を踏まえた研究の必要性」等に関する『事前評価』を受け、実施すべきという評価を得た上で研究に着手している。 【評価結果】 国等の公共事業における美しいまちづくりに向けた景観創出の取り組みをより推進することを目的とするものであり、重要な研究として実施すべきと評価する。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先(業務請負者)選定の妥当性については第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。 ・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に進捗状況や成果についてチェックを行った。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止した。また、主たる部分以外の再委託は、軽微なものを除いては、支出先・使途を確認するため、再委託承諾申請を求めるとしている。なお、本事業においては、再委託承諾申請を要する再委託はない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・事業開始前に外部有識者による「効率性(研究の実施方法・実施体制)」、「有効性(成果の見込みと活用方針)」等の評価項目に関する『事前評価』を受けており、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関する『事後評価』を受けることとしている。 ・最終成果である「景観創出を契機とした美しいまちづくりのみちしるべ」は、地方整備局各事務所等公共事業の担当者が、景観整備を実施する際の参考資料として活用する。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・外部有識者による評価委員会において「必要性(研究の背景を踏まえた研究の必要性)」、「効率性(研究の実施方法・体制の妥当性)」、「有効性(研究成果の見込みと成果の活用方針)」に関する『事前評価』を受け、実施すべきという評価を得た上で研究に着手している。</p> <p>・また、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関し、外部有識者による『事後評価』を受けることとしている。</p> <p>・支出先の選定については、価格競争や企画競争により競争性の確保に努めた。</p> <p>・業務発注にあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について所内審査を行い、的確な執行に努めた。</p> <p>・また、委託先の選定にあたっては第三者機関である技術提案審査委員会による審査を行うこととしており、的確な予算の執行に努めた。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>・24年度に所定の成果を取りまとめ、予定通り事業を終了できるよう、年度末に当該年度の活動実績や成果の活用状況(見込み含む)等をチェックする所内評価を行った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	一定の成果を得られる見込みであることから、24年度をもって廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	平成24年度中に所要の成果が見込まれることから廃止。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0416

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.株式会社プランニングネットワーク			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費(景観創出効果発現プロセスの整理)	4			
その他	直接経費(積上げ部分除く)及び間接原価	2			
その他	一般管理費等	3			
その他	消費税	0			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社プランニングネットワーク	景観創出効果相互の関係分析及び効果と景観創出の取組み手法等との関係分析に基づく効果の発現プロセスの整理	9	随意契約 (企画競争)	99.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					